div・span要素を使った設定

div要素とspan要素の機能

div要素を使うと、複数の要素をまとめてグループ化することができます。また、クラスやIDを使えば、独自の意味をつけることができます。div要素は、**ブロックレベル要素**なので、ひとつのブロックを作ることができます。

```
<h1>第1章</h1>

<div class="section" id="sec1">
<h2>第１節</h2>
<p>...</p>
<p>...</p>
</div>

<div class="section" id="sec2>
<h2>第２節</h2>
<p>...</p>
<p>...</p>
</div>

...
```

span要素を使うと、文章中に、HTMLには用意されていない、独自の意味づけをすることができます。span要素は、**インラインレベル要素**なので、指定した部分は改行されません。

```
<p>
これからは<span class="note">Webカメラによる授業参観<span>ができるかもしれません。
</p>
```

div・span要素とクラス・IDの組み合わせ

上の例にはすでに書かれていますが、div要素やspan要素にクラスやIDを指定することで、HTMLの構成要素として定義されていない（定義できない） 部分に対しても、スタイルを設定することができます。

div要素にクラスやIDを指定すれば、複数の要素に対してまとめてスタイルを設定することができます。span要素にクラスやIDを指定すれば、特定の部分にだけスタイルを設定することができます。

たとえば、上記のdiv要素とspanをを使った例に、次のようなスタイルを指定することができます。

```
.section {
  background: #ffeeee;
}
#sec1 {
  color: #ff0000;
}
#sec2 {
  color: #ff00ff;
}
.note {
  color: #ff0000;
  background: #ffff00;
}
```

次へ進んでください。

}}